

環境にやさしいごみだし情報



レジ袋有料化 全国一律に 7月1日スタート!

プラスチックは、私たちの生活に広く浸透し、便利な暮らしにしてくれました。その一方で、プラスチックごみが海に流出し、環境問題が深刻化しています。

Q1 酒田市のスーパーでは、もう有料化していますが・・・?

A 市では、平成20年に市内小売店8社と市民団体で「レジ袋の削減推進に関する協定」を締結し、レジ袋の削減にいち早く取り組んできました。令和元年12月に容器包装リサイクル法の関係省令が改正されたことで、全国の小売店で一斉に実施されることとなります。
※小売店とは、スーパー以外にも書店、薬局、ホームセンター、コンビニエンスストア、衣料品店などがあります。

Q2 すべての買物袋が対象になるの?

A 購入した商品を持ち運ぶために用いる、持ち手のついたプラスチック製の買物袋が対象です。紙や布素材の袋、環境性能が認められるプラスチック製の袋は法律の対象外ですが、環境問題のためには、あらゆる袋の使用を抑える必要があります。そのため、有料化対象の袋か否かに関わらず、事業者が自主的に有料化にする動きが広がっています。また、製造業やサービス業などでも、商品を入れて使用するプラスチック製の袋は対象となります。



Q3 1枚あたりの価格は?

A 価格は、事業者自ら設定することとなります。ただし、1枚あたりの価格が1円未満になるような価格設定は有料化にあたりません。

ライフスタイルにあったマイバッグを今から準備してみませんか?

Q4 どうしたらいいの?

A 買い物の時だけでなく、外出の時は常にマイバッグを携帯するよう心がけましょう。レジ袋は、ほんの少しの事前準備と工夫で減らすことができます。「環境のためにできることはなんだろう」と考え、普段のライフスタイルを見直していきましょう。



蛍光管、乾電池・ボタン電池の 分別収集が始まりました。

令和2年4月から、水銀使用廃製品（蛍光管、乾電池・ボタン電池等）の分別収集が始まりました。収集した蛍光管等はこれまで埋立処理をしていましたが、分別して収集することで水銀は資源としてリサイクルされます。

収集日

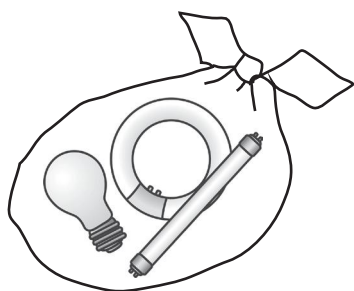
収集日は、お住まいの地域によって異なります。「ごみルール酒田カレンダー」をご確認ください。

(例) 16日が水銀使用廃製品収集日の場合

16
水銀

※黒枠の中が黄色で記してあります。

蛍光管の出し方



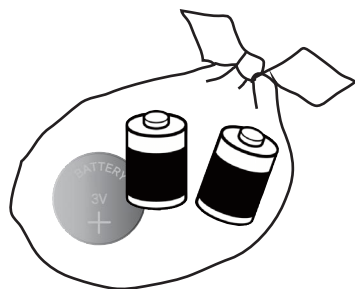
蛍光管^{~~~~~}だけを透明な袋に入れて、**水銀**の日にごみステーションへ出してください。

※ 長いものは袋からはみ出しても構いません

※ 破損したものは別袋に入れてください

※ 白熱電球やLEDランプは **埋立ごみ**の日に出してください。

電池の出し方



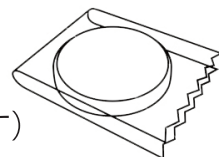
乾電池とボタン電池^{~~~~~}だけを透明な袋に入れて、**水銀**の日にごみステーションへ出してください。

※ 使用済のボタン電池はセロハンテープなどで両極を覆ってください。(発火する場合があります)

※ 「水銀ゼロ使用」と表示がある電池も出せます。

※ 繰り返し充電して使用する充電式電池は出せません。購入店のリサイクルBOXなどをご利用ください。

※ 電池の種類でお悩みの場合は、市環境衛生課へお問い合わせください。



ご注意

袋の指定はありません。持った時に破れず、透明な袋であれば構いません。市指定ごみ袋でも構いません。(レジ袋はもらわない・使わないようにしましょう)